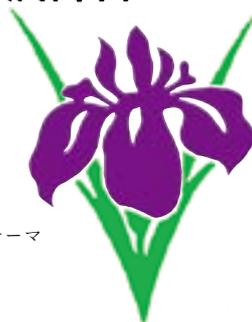


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 太田 宗一郎
幹事 杉浦 文雄
会報委員長 小川 耕示

2010～2011年度 国際ロータリー Ray Klinginsmith (レイ・クリンギンズミス) 会長テーマ

Building Communities Bridging Continents 地域を育み、大陸をつなぐ

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2697回例会プログラム

[当年度=16回目；当月=3週目]

2010年（平成22年）11月15日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉
- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……それこそロータリー
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 職業表彰（職業奉仕委員会）
……^{おくたいら}奥平 ^{ひさこ}久子 様・^{すずきみきこ}鈴木美貴子 様
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(11/22) ……休 会
(クラブ定款第6条第1節 (c))
(11/29) ……
卓話
講師 ボストン美術館
館長 馬場 駿吉 様
(紹介者 橘 典子 会員)
- 13:00 14. 本日のプログラム
新入会員アワー
^{なかまつ}中松 ^{けんいち}健一 会員
^{みやさこ}宮廻 ^{かずまさ}和正 会員
15. 謝辞
16. 点鐘……〈会長〉
17. 閉会宣言
- 13:30 18. 散会

ゲ ス ト

刈谷警察署少年補導職員 奥平 久子 様
” 鈴木美貴子 様
刈谷警察署生活安全課少年係 上席係長 稲波 貴嗣 様
米山奨学生 ネ・イー 様

出 席

会員総数 92名 出席免除 26名
出席義務者+免除者の内例会出席者 79名
欠席 14名 出席率 82.27%
前々回 (11/1) の修正出席率 100%

幹 事 報 告

- 1) 本日2時より「ひかりの家支援事業」労力奉仕及び完成式があります。出席の方々は横山会員、市川副幹事をご案内しますので一緒におねがいします。
- 2) 11月21日地区大会に参加されます方は刈谷駅8時18分のJRに乗りますのでお忘れなく、尚市川副幹事が改札口付近にてお待ちしております。

会 長 あ い さ つ

防災訓練

太田宗一郎



11月7日に地元中部地区の地震を想定した防災訓練が行われ参加致しました。

また11月10日にはOTAビルの消防避難訓練がありこちらのほうも参加致しました。

11月7日の中部地区の防災訓練は大地震の東海地震や東南海地震を想定して行われました。今回は愛知県の防災課より起震車「なまず号」にも来ていただき震度7の揺れを体験致しました。震度7になる

とかなりの揺れになり、立っていることは勿論、腰掛けていても何か動かないものにしっかりと掴っていなければならないほどの揺れを体験致しました。これが家庭では戸棚が倒れたり、机や腰掛が倒れたり、窓ガラスが割れたり、テレビや他のものが落ちたり転がってきたりと想像を絶する光景になると思って体験してまいりました。普段から戸棚が倒れないように、しっかりとためておかなければならないと感じました。

また火災が発生した時の消火器の使い方も体験致しました。我が家にも消火器がありますが、今までに火災が発生したことがありませんので、使った経験が無く、この際と思い体験致しました。消火器は初期消火の為のもので天井に火が付いたら火の廻りが速いので、そうしたら消火器では消火できません。即逃げなさいとのことでした。又消火器を扱うときには逃げ口を確認し、いつでも逃げられる状態で消火器を扱うようにと指導されました。

応急処置の仕方について家庭に有る物でのやり方の話もありました。

パンティーストッキングを使っての腕の骨折の固定や頭の怪我の固定等が行われました。擦り傷等はハンカチ等を使っての方法や、風呂敷2枚を使ってリュックサックを作り荷物をその中に入れて両手を空ける方法や、財布と携帯電話ぐらいならばハンカチでポシェットを作り両手を空ける方法等を教えていただきました。何も災害時ではなくてもリュックサックの作り方やポシェットの作り方を覚えておくと、何かのときには使えると思います。

11月の10日に行われたOTAビルの避難訓練は消防法に基づき行われましたが避難経路等の確認や非難時間や避難者の人数の確認等を行いました。

いずれにいたしましても間もなく発生すると言われております、東海沖地震、東南海沖地震や南海沖地震について少しでも冷静に対応できるようにしておかなければなりません。

大きな地震には火事も発生します。火の元にも注意しなければなりません。

皆さんは地震に備え普段から非常袋を用意されておりますか？非常袋の中身の非常食の期限は大丈夫ですか？懐中電灯の電池は切れておりませんか？飲み水は用意されておりますか？避難経路、避難場所は確認されておりますか？仕事先で地震が発生した時はどの様になりますか？家族との連絡の取り方はお互いにわかっていますか？怪我をしたときの応急処置は出来ますか？何時大地震が来るのかは誰にもわかりません。非常時に対して普段から注意して準備を怠らないようにしておかなければなりません。まず自分の命を守ることを最優先に考えなければなりません。

私ももう一度確認をして非常時に対応できるようにしておきます。会員の皆様も非常時に備えていただくようお願いを致します。

職業表彰



少年補導職員 奥平久子様、鈴木美貴子様

新入会員アワー

中松 健一 会員



1985年に入行し現在勤続25年。この間、大半の20年を愛知県でお世話になりました。本日は、この25年を振り返り、お世話になってきた中小企業についてお話をさせていただきます。

25年前は金融自由化・国際化がスタートした頃であり、都銀も13行ありました。円相場は240円前後でしたが、急速な円高のきっかけとなったプラザ合意がなされた年でもありました。現在、都銀は4行・円相場は80円台に、この間バブル・失われた10年・リーマンショック・世界同時不況と、まさに激動の25年間でした。

こうした厳しい環境下、企業数も減少トレンドですが、個々の企業様を拝察致しますと、厳しい経済情勢、少子高齢化、環境・エネルギーの制約という課題をいかに克服し、新興国をはじめとする国外の成長機会をどう取り込むか、様々な工夫をされています。

2010中小企業白書に「中小製造業集積の維持・発展への取組」がレポートされていたので、紹介させていただきます。(詳しくは、白書本文P.82～ご参照)

レポートでは、我が国有数の中小製造業集積地である東京大田区・浜松市・東大阪市をサンプルに、1986年から20年で事業所・従業員数が25～40%減少してきた事実を述べ、取り組むべき課題(円滑な事業承継、中小企業の強みを活かした連携、新規事業者の支援)を示しています。

紹介されている地区と類似した環境にある当地の事業者の皆様とともに、知恵を絞って頑張っている所存です。今後ともよろしくお願い致します。

宮廻 和正 会員



私は今年の7月に入会させていただいた宮廻です。

数ヶ月経ちましたが、出席で少し苦勞していますが、会の活動の理解も進んできました。

本日は自己紹介と私の出身 島根県、そして当社の福祉車両の取り組みを中心に話をさせていただきたいと思います。

私の名字は松江市など出雲地域に見られる特有なものです。すでに愛知に来て36年が経ちますが、私のような地方出身者にとっては故郷に対する思いはそれなりのものがあります。島根県は残念ながら日本一の高齢化県で65歳以上の比率は28.6%にもなります。これは寿命が長いというよりも就業機会が少なく若者が他県に就職せざるを得ないという構造によるものです。今となつてはこの構造から抜け出すのは難しいと思いますが政治の側面からもう少し何とかならなかったのかと思います。

次に当社の福祉車両の取り組みについてお話します。私も営業部時代にこの業務に携わりましたが、車を通して豊かな社会づくりを企業理念とする当社にとって、福祉車両は大変重要な位置づけにあります。S53年から開発を始め各種タイプの品揃えや車種展開の拡大を図り現在では年間1万台を超えるレベルまでになっています。今後高齢化が進む中、身障者の方だけではなく、高齢者の移動をサポートする使い勝手のよい、安価な商品の開発を更に進めて行きたいと考えています。また自社生産の福祉車両を使った外出支援ボランティアも実施し地域の方に喜ばれています。今後とも商品の提供はもちろんですが、このような活動を通し社会に貢献できる会社を目指していきたいと思います。

また私自身もロータリークラブの入会を契機に改めて奉仕について考え、皆様のご指導を得ながら取り組んでいきたいと思っています。